

「ハッ場ダム建設事業の検証に係る検討報告書（素案）」に対する関係住民の意見聴取

平成 23 年 11 月 6 日（日）10:00～12:00

さいたま新都心合同庁舎検査棟

発言者：意見発表者 5

●●と申します。私は東京都に住んでいます。生まれてからずっと東京です。私のまとまった話ではないですけど意見を述べさせていただきます。

私の住む街には川が無く、学校の校庭に人工的に作られたものだけが子供の頃、唯一の川でした。神田川や荒川など足を伸ばせば川がありますが、水に触れる事のできる川ではありません。旅行に行き、川遊びをする時、近くに住む子供達が川遊びをしており、うらやましく思いました。私の足下にも川はあるそうですが、昔にふたをしてしまったため、今はありません。その時の理由がいろいろあると思いますが、今後の都市政策では、このふたを外し、川としていろんな役割というのがあっても、あつて欲しいなと思っています。川遊びとはいかなくても風が通り、街が潤うと思います。川とは何か、水とは何か、その危険性も含めて子供の頃から川について水について学ぶことが出来ると良いと思います。さて、吾妻渓谷ですが、私が初めて訪ねたのは 5 年ほど前でした。上毛、をテーマに群馬県と東京の私たちが住む街についての関係を調べていた時でした。東京の水の確保と洪水を防ぐためにハッ場ダムが計画されているということを知り、川原湯温泉を訪ねました。高崎から乗った吾妻線はしばらくのんびりとした街を走っていましたが、榛名山を見たり、それから、田んぼやワラ葺き屋根の様子が見えてきました。小野上辺りで川がぐるっと迂回カーブするのが見え、それが吾妻川でした。欄干からの高いところの景色、眺めて見ると、山の中で吾妻渓谷を見下ろす事が出来ました。私はかつて、ちょっと恐ろしくて、そんな印象を受けましたが、駅に着き、実際に歩いてみると、とても親しげで古くからの友人のような懐かしい感じがしました。空からの光と山々、木々のコントラストがとても美しく、いつぱんにファンになりました。また、山々の収まった木々が、長い年月をかけ、太平洋側や日本海側のおそらく真ん中になると思うんですけども、色々な木が都合の良い場所にびったりと収まっているような印象を受けました。岩山の山水画のような表情があり、流れ落ちる滝や数々の沢、この地が心豊かな場所だということを知りました。その後、何度も訪ねましたが、もえぎの頃、新緑、夏、紅葉、落葉、雪景色、いつ行っても表情が本当に楽しいところです。一人で歩く時はカモシカやイノシシ、ムササビなどにも会いました。検証では様々な費用が算出され、ハッ場ダム案が一番優れているという結果が出たそうですが、吾妻渓谷が死ぬというこれからの日本の社会の終わりまでの年月に関わるマイナスはいったいくらとでるのでしょうか。山には多くの生物が生息しています。それらについてはどのようにお考えなのでしょうか。その生物たちについての報告はほとんど今回の報告の案の中では見られません。国の名勝に指定され、新緑や紅葉の頃、毎年楽しみにしている大勢の観光客の人々、その人たちへの影響は考えられたのでしょうか。渓谷の影響を考えてダム予定地を少し上流にしたそうですが、ダムがそびえれば景観は台無しです。水の流れも変わります。谷が悲しい姿になると思います。川原湯温泉は草津の上がり湯と知られ、泉質も穏やかな心地よい湯ですが、ダムにより水没されることになりました。代替地の皆さん、移転して、温泉はポンプアップするとの事ですが、この維持費、移転費、とても地元だけでは対応しきれないものではないと思います。そんなことは、よその人間がちょっと考えても分かることです。また、温泉街の風情はやはり失われてしまうのでしょうか。ふさぎ道に沿った崖に建つ温泉街は年月によって形づくられたものですが、この味わいが新しい代替地に移れば無くなり、またはじ

めからやり直さなくてはなりません。このマイナスはこの報告書の中ではどのようにお考えなのでしょうか。八ッ場ダムでない案でも自然の影響、地元の影響をまず第一に考えるべきだったと思いますが、それをどのようにこの報告書の中で考えられたのでしょうか。多くの旅館が休業、転出した今となつては、川原湯温泉を元のおりに戻すということは大変難しいと思います。このような検証はもっと早い段階に公開の場で行うべきだったと思います。これからの公共事業、特に大型で被害の大きなものは手遅れにならないうちに計画の始めに様々な意見を取り入れ、行うことを義務づけて頂きたいです。今回の検証の中身は利根川下流のことばかりで肝心の水没予定地についてのレポートが非常に薄い事が気になりました。下流で過去に洪水が起きて苦労したということ、水が無くて苦労したということ、など書かれています。それは本当に大変だったとは思いますが、でもそれは八ッ場ダムを造ることによって解決するのかよく分かりません。下流で決壊したところに流れる水の量が大幅に減るのなら分からなくもないですが、八ッ場ダムを造ることによって数10センチしか水位が下がらない、と聞きます。吾妻川は普段から水位が低く、地元の人からはこの川が悪さをしたことがあるのか。無いのになぜダムを造るのか、と聞いたことがあります。地形・地質などきちんと考えられてのことでしょうか。私の住む東京について、このダム計画は東京も参加しています。他の県の話は存じませんが、東京では水が不足しているという印象を受けません。また、治水について江戸川区の区長さんの話ですと、報告書に載っていますが、八ッ場ダムが出来ないと治水面で大変困るということですが、具体的にはどういうことなのか。八ッ場ダムが無いってことによって、どのような被害を受けてきたのか。作ることによって、どれほど軽減されるのか。具体的な事を示して頂きたい。これは他の熱心に推進している自治体についてもお願いしたいと思います。●●さんというジャーナリストの方のレポートでは江戸川区役所に訪ねて実際のダムの効果を聞いたとき、そのダムの効果はほとんどありませんということを知りました。これについてはどうお考えなのでしょうか。もう一つ、別の角度からも都市の治水・利水について考えたいと思います。このダムは関係都県の言うなりに、水を供給することを目的としています。また、川のそばや災害の起こりそうな土地に住む下流部のために造られます。しかし、本来、水の利用はみんなのもの。大事に譲り合って使うべきものだとは私は思います。水が足りないと言いますが、それは、どの程度、どんな具合に足りないのでしょうか。3月の震災の後、電気が足りなくなったと騒いで、いつ停電になるかと思いましたがけれども、みんなが頑張って節電したり、また、そうでなくても、もしかしたら足りていたかもしれませんけど、今回の電気の事のように大切にすればこれ以上ダムなど造らなくても良い、もしかして元から無い、要のないものなのかもしれません。また、水が、今現在、実際、埼玉県などで使っているという事ですので暫定水利権というのは安定水利権にしてはどうでしょうか。そんな引き替えのような感じでダムを造られるのは、はっきり言って、納得ができません。都市のためにと言って、山や川がどンドンつぶされていくのはもう止めて欲しいと思います。また、川の近くのギリギリのところでは災害が多いという事ならば、他の県については知りませんが、東京都でしたら、ぜひ、安全な土地を提供して頂きたいと思います。また、これからは人口も減りません。ダムは維持費もかかりますし、不要になったらまた、時間とお金をかけて撤去しなくてはなりません。それらについては今回の報告書ではどのように考えられているのか、ちょっと分かりませんでした。最後に、再び八ッ場ダムの地元についてです。先日、学者の先生たちが、検証の見直しを訴えて声明を出されたことはご存じだと思います。その理由に建設予定地の安全性について、疑問があると書かれました。これは、大変重要なことです。災害を起こす可能性のあるものに、私は税金とはいえお金を出す訳にはいきません。公共工事だからといって無茶苦茶な工事は許されません。必ず、声明を出した学者並びに地元に住む周辺の環境に詳しい人達、反対運動を続けてきた人たち、それから周辺の住民や、

一部の自治体も含まれると思いますけども、みんなで議論する場を作るように要求したいと思います。そして、地元の人たちが安心して暮らせるように、早く生活再建を、生活再建法案を作って下さい。また、このダム計画が止まる、止まらないに関わらず、大型公共工事を止めた場合を想定した法整備をして下さい。それは、この場でお願いするのが適切かどうか分かりませんが、現地ずり上がり方式であったこの八ッ場ダム工事を、受け入れるのには現地ずり上がり方式という案が基になったと聞きますけども、土地を持っている人しか移転しにくいようなこの代替地の値段、17万円というのは、本当に反省して頂きたいと思います。この、人権を無視というか、約束を守れない、民間人の感覚からは、ついていけないような、言葉は悪くて恐縮ですけども、私たちはこれを詐欺と言いたいと思います。今からでも、もう遅いかもしれませんが、何らかの対処して頂きたいと思います。また、過去において、他のダムや他の公共事業において、このような非人道的行為を他の現場で行っていなかったかどうか、ぜひ、振り返って頂きたいと思います。

下流に住む私たちのためと言って、今、八ッ場ダムは造られようとしています。しかし、私たちの知らないところでこれらの計画は続けられ、行われてきました。これはここだけの話では無いと思います。私たちのためと言って、例えば、今、話題になっていますが原発が造られ、ダムもあちこちに造られ、山が削られ、海が埋め立てられています。しかし、私たちのためと言うならば、私たちの望む川やきれいな空気、そういったものも守って頂きたい。開発だけが優先される、というこの社会が、もう、ちょっと、止めて頂きたいと思います。今の日本国には様々な価値、例えば、お金には換えられない景色とか、空気とか水とか、そういう計り知れない価値を見つけて、守って、未来の子供達に残していきたい。そういう風に価値の転換をしていって欲しいと思っています。利根川の、迂回は徳川時代の治水工事によるものと伺いましたけれども、このような無理な地面の変更をすると、自然には元に戻る力がありますから、元に戻って、やっぱ、このような災害を起こすと思います。人間の思うとおりには、いかないと思います。自然を人間の都合の良い方向に変えるのではなく、自然の力を活かして、自然に寄り沿って、日本の社会を造って頂きたいと思います。以上で終わります。

以 上